

令和7年9月 本会議 議事録

【年 月 日】令和7年9月16日 【答弁番号】20-3

【質問件名】小中学校における熱中症防止の取り組みと今後の対策について

【質 問 者】小金丸かずよし 議員（まるまる戸八会）

【作 成 課】教育委員会学校教育課

■小金丸かずよし 議員

最後に、小中学校における熱中症防止の取り組みと今後の対策について、伺います。

本市は独自の活動判断基準により、暑さ指数（WBGT）の午前7時時点での予測値が33以上となった場合には、教育委員会の判断において、空調設備のない場所での授業や部活動、そして休み時間の外遊びなどを一斉に中止しています。これは、熱中症による事故を未然に防止するという児童生徒の健康を考えてのことだと認識しています。

（略）

以上を踏まえ、暑さ指数が基準値以上になった日においても、子どもたちが体を動かすことができる環境を整備することについて、教育委員会の見解と今後の対策について伺います。

以上をもちまして、私の第一質問を終わらせていただきます。

■太田清治 教育長

項目3つ目の「小中学校における熱中症防止の取り組みと今後の対策」について、暑さ指数が基準値以上になった日においても、どもたちが体を動かすことができる環境を整備することについてというご質問にお答えをいたします。

学校における熱中症対策は極めて重要であり、教育委員会では、「学校における熱中症対策ガイドライン」に基づいて、児童生徒の安全を最優先に様々な対策を講じています。

具体的には、国の指針に基づき、活動場所における暑さ指数（WBGT）を測定し、実測値が31以上の場合、北九州市の独自基準といたしまして、午前7時時点での暑さ指数の予測値が33以上の場合は、空調設備がない部屋や屋外での活動を、原則中止としています。

また、各学校では、暑さ指数に関わらず日頃から、こまめな水分補給の呼びかけ、大型扇風機やスポットクーラー、製氷機、ミストシャワーの設置、比較的気温が低い午前中における活動の実施などを行うとともに、今年度新たに、日傘や冷却グッズ（ネッククーラー、保冷剤等）の積極的な活用を促す通知を出したところです。

なお、暑さ指数がガイドラインの基準値を超えた場合でも、できる限り児童生徒が安全に体を動かせるよう、空調設備のある特別教室等を利用して、体育の授業では、ストレッチやリズムダンス等の体力向上につながる運動、休み時間には、校舎内をめぐるクイズラリー等、楽しみながら体を動かす活動を各学校が工夫して行っております。

ご提案の空調の整った学校外施設の利用については、運動の機会を確保することにつながります。他方、移動時の安全確保や時間の確保、一般利用との調整等、課題もございます。

こうした中、学校体育館へのエアコン設置に着手すべく、今回の補正予算議案に3校分の実施設計費用を計上したところです。

引き続き、様々な対策を講じながら、すべての子どもたちが安心して学び、心身ともに健やかに成長できる教育環境の充実に努めてまいりたいと考えております。

■小金丸かずよし 議員

そして最後になりますけども、教育長からご答弁いただきました暑さ対策についてでございます。小学校、中学校は9月に入ってこの2週間、2週間のうちでもですね、熱中症アラートが出て外遊びができない日が数日ありました。その中でも学習時間を十分に保つために、数年前からですね、夏休みの短縮化と、そして二学期制が導入されて、まだ記憶に新しいと思うんですけども、今、そういった環境整備が整ったはずのオンライン授業というのは、今の実績としてはいかがなんでしょうか。質問になります。

■太田清治 教育長

熱中症対策でのオンライン授業ということでございますでしょうか。

実際にはもう今、対面の授業がほとんどほとんどでございますので、とりわけ、それに特化してやっているということはございません。不登校等の子どもたちへのオンラインの授業を行っておりますけども、以上でございます。

■小金丸かずよし 議員

はい、ありがとうございます。今はいいんですけども、数年後に、もっとこういった状況が、もう毎日のような猛暑が、例えば10月の末まで続くっていう想定も含めてですね、いろんな対策を練っていただきたい。そして、オンライン授業についても確立された以上ですね、何か、随時ですね、適用していただきたいなというふうに思います。そして、私が最後にご要望したいのがですね、中学校の部活、部活動が今、地域移行されておりますけども、こういった今お話いただいた中でも、やはり大会を、大会や試合を土日に控えた練習期間の

中でもですね、この暑さ指数によって練習ができないという環境があるわけなんです。そういった点についてはどのようにお考えでしょうか。

■太田清治 教育長

私もこの4月、着任しまして、それについては、今議員おっしゃったところはもっともだと感じておりまして、今、この暑さ指数の予測値33については、もう一度、学校現場の意見を聞きながらですね、それから、専門家の意見も聞きながら、どういう形であるのが一番良いのかということ、今、内部で今検討をしているところでございます。

■小金丸かずよし 議員

はい、随時、ご丁寧なご答弁ありがとうございました。やはり、教育の中で大事なことはですね、まず命を守ること、そして体調管理を整えるということですけども、それは内面的なものもあります。やはり、ストレスが溜まったり、フラストレーションが溜まらないような、教育現場を築いていただきたいというふうに思います。そして、私の次の小宮議員にバトンタッチいたします。ありがとうございました。